

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和元年度】

( ⑤その他の施設 )

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	22世紀の丘公園		担当課名	維持管理課	記入者職氏名	主任 藤原一成
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則				
	(2)施設設置目的	「ゆっくり、じっくり、森づくり、みんなが集まる手作りの公園」を基本理念とし、将来に永く残せる、掛川らしい里山・里地の四季の景観づくりを目指している。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	公園面積20.8ha(開園面積8.7ha)研修棟1棟 芝生広場 多目的広場 大型遊具 小型遊具 炭焼き施設 調整池 修景池 駐車場 コミュニティ施設(たまりーな) 大研修室(264.35㎡) 多目的室(108.38㎡) 研修室1・2(75㎡) 研修室3(56.25㎡) 和室研修室(77.07㎡) 工作室(73.87㎡) ボランティア室 図書ラウンジ 休憩コーナー プール(20m×10m) 温浴施設(男女)				
	(4)施設建設年度	平成19年度				
	(5)耐震性能の有無	あり				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	入場管理システム更新工事		園路改修工事		
		ヒートポンプ更新工事		プールろ材交換工事		
		エアコン更新工事				
	(7)指定管理者名	西東石油株式会社				
	(8)指定期間	平成30年 4月 1日 から 令和 5年 3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし    ※設定ありの場合、(期間 平成30年度～平成34年度) (限度額 380,379 千円)				
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 元年度)					

区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	160,000	170,000	160,000	160,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	152,419	149,192	143,216		
	内訳 (施設・設備ごと)	研修室	65,511	58,502	52,611		
		プール・浴室	24,300	26,007	24,390		
		グラウンドゴルフ	2,020	1,337	1,087		
		その他(遠足等)	6,965	4,989	4,393		
		遊びの里・芝生広場	53,623	58,357	60,735		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	研修室合計 (定員 人)	A平日昼間	65.8%	65.5%	69.4%	A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/(14*12ヶ月稼働日数)
			B平日夜間	28.0%	19.8%	18.8%	B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/(7*12ヶ月稼働日数)
			C土日祝昼間	37.0%	43.6%	41.6%	C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/(14*12ヶ月稼働日数)
			D土日祝夜間	13.3%	9.1%	6.9%	D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/(7*12ヶ月稼働日数)
				研修室が7部屋あり日中はAM・PMとあるので(7*2=14) 夜間は時間帯が1パターンなので7			
大研修室 (定員 150人)		A平日昼間	69.1%	62.6%	71.3%	A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/(2*12ヶ月稼働日数)	
		B平日夜間	20.6%	14.7%	10.1%	B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数	
		C土日祝昼間	50.2%	53.1%	44.9%	C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/(2*12ヶ月稼働日数)	
		D土日祝夜間	11.6%	14.3%	13.0%	D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数	
		平日研修室はAM・PMとあるので稼働日数に*2をする					
研修室1 (定員 36人)		A平日昼間	68.4%	66.8%	62.7%		
		B平日夜間	12.4%	9.5%	16.6%		
	C土日祝昼間	48.8%	45.5%	45.8%			
	D土日祝夜間	8.3%	8.0%	9.3%			

2 利用状況	(施設・設備ごと)	研修室2 (定員 36人)	A平日昼間	70.9%	73.9%	71.3%	
			B平日夜間	9.5%	12.1%	10.7%	
			C土日祝昼間	49.4%	38.4%	38.0%	
			D土日祝夜間	3.7%	9.8%	3.7%	
		研修室3 (定員 27人)	A平日昼間	75.9%	76.1%	79.6%	
			B平日夜間	18.4%	58.9%	53.3%	
			C土日祝昼間	55.8%	56.7%	54.6%	
			D土日祝夜間	13.0%	13.4%	14.8%	
		多目的室 (定員 人)	A平日昼間	76.1%	68.4%	78.1%	
			B平日夜間	65.0%	28.9%	12.4%	
			C土日祝昼間	54.4%	55.8%	27.8%	
			D土日祝夜間	49.0%	3.6%	3.7%	
		和室研修室 (定員 36人)	A平日昼間	60.8%	70.5%	75.7%	
			B平日夜間	10.4%	14.2%	27.2%	
			C土日祝昼間	45.6%	31.7%	53.7%	
			D土日祝夜間	7.8%	12.5%	3.7%	
		工作室 (定員 36人)	A平日昼間	39.2%	40.3%	46.7%	
			B平日夜間	2.1%	0.5%	1.2%	
			C土日祝昼間	30.5%	24.1%	26.4%	
			D土日祝夜間	0.0%	1.8%	0.0%	
区分			H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考
3 管理・運営	(1)指定管理者名		ビル保全グループ				※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		316	281	285		
	(3)運営日数		303	302	277	302	

運営状況	(4)運営人員	①正規職員	4.0	3.0	3.0	3.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	16.0	16.0	16.0	16.0	

## Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	40,916,418	35,778,930	34,404,475	34,600,000	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	450,417	263,440	300,416	300,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	329,007	1,734,394	1,848,704	2,090,000	
	⑤借上料	337,320	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	3,724,740	2,988,627	3,542,625	3,020,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	2,357,321	1,123,084	781,336	852,000	
	計	48,115,223	41,888,475	40,877,556	40,862,000	
対前年度増減率			△ 12.9	△ 2.4	△ 0.0	
区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	7,624,368	8,194,773	7,217,996	7,300,000	
	植栽管理	7,452,000	8,007,204	6,975,996	7,050,000	
	機械警備	172,368	187,569	242,000	250,000	
②修繕費	2,101,667	293,760	248,607	250,000		
③光熱水費	15,643,838	17,376,463	16,997,595	16,500,000		
④燃料費	42,074	79,428	11,802	80,000		
⑤清掃費	0	0	0			

⑥保守点検費	4,159,360	5,076,000	5,123,740	5,200,000	
⑦その他(施設消耗品)	947,342	1,130,063	1,905,009	850,000	
計	30,518,649	32,150,487	31,504,749	30,180,000	
対前年度増減率		5.3	△ 2.0	△ 4.2	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	78,633,872	74,038,962	72,382,305	71,042,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	61.2	56.6	56.5	57.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する	11,451,530	11,813,880	11,209,410		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	23.8	28.2	27.4		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設使用料収入	11,451,530	11,813,880	11,209,410	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	74,483,000	70,000,000	70,447,000	
収支差額 a)－b)	△ 63,031,470	△ 58,186,120	△ 59,237,590	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a－トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 自主事業の収入	7,377,857	9,406,194	13,821,717	スポーツ、農業体験、英会話、絵画造形教室等
b) 自主事業の支出	5,806,534	10,193,039	8,403,429	H30は、カフェ等投資分を含む
収支差額 a)－b)	1,571,323	△ 786,845	5,418,288	

c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

## IV 担当課による評価

## (1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

## (2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 &lt;達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点&gt;

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	80	86.9	3	
B サービス内容の満足度	80	79.1	2	【達成できていない点・主な課題】 ・カフェや備品の貸し出し等で企業努力が見られるが、さらなるサービス展開に期待したい。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・他施設の状況を確認し、独自のサービスを検討していく。
C 従業員対応の満足度	80	78.1	2	【達成できていない点・主な課題】 ・あいさつや声かけの徹底が見られるが、細やかな点で改善を要する。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・指定管理者の独自研修の徹底や市の調査を実施する。
D 施設安全対策の満足度	80	80.8	3	
E 美観・清潔感の満足度	80	81.7	3	
F 施設の利用者数	160,000	143,718	2	【達成できていない点・主な課題】 ・2月まで前年並みであるが、3月は新型コロナウイルス対策により前年度比50%減となった。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・休園がなければ目標を達成できていた。今後も利用者の安全を重視した運営を行っていく。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	<b>【達成できていない点・主な課題】</b> ・自主事業などへの投資と新型コロナウイルス対策による休園の影響による。 <b>【いつまでに、どのように対応するか】</b> ・今後、自主事業が事業計画どおり遂行されるように支援する。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	<b>【達成できていない点・主な課題】</b> ・たまりなは、老人福祉センター機能を有しており、社会福祉協議会の優先利用があるため、指定管理者の努力で使用料収入を伸ばすことが困難。 <b>【いつまでに、どのように対応するか】</b> ・公園管理課だけではなく、福祉関係課の意見を取り入れた運営体制が求められる。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計      26      / 33

V その他自由意見